

アクティブ・ラーニング手法を駆使した『化学塾』の展開

代表：杉原多公通 副代表：本澤忍

高校生を対象として、「生命科学の中に潜む化学」の面白さを伝え、「化学に興味をもち、将来、化学の道に進む高校生」を育成すると同時に、「化学は新潟薬科大学」というブランド・イメージを定着させことを目的として、2016～2018年度に『化学塾』を開講しました。数ある『化学』の学問領域の中でも薬学や応用生命科学与と密接な関係がある『有機化学』・『生命化学』領域に焦点を当て、基礎を重点的に学ぶ「basic コース」と基礎から発展領域までを網羅的に学ぶ「advanced コース」の2種の深度の異なるクラスを開講しました。各コースにおいて、分子模型やコンピューター・ソフト、クリッカーを活用し、TBL (team-based learning) やジグソー法などのアクティブ・ラーニング手法を取り入れた講義・演習形式の授業と実験・実習形式の体験・実践型の授業を開講しました。各回の受講者は、「basic コース」は30～50名、「advanced コース」は5～12名であり、リピーター率は高く、「化学好き」の高校生が予想以上に多いことがわかりました。また、各回の授業では生体分子や生理活性物質を授業の中で取り上げており、授業中及び授業後の生徒との会話や意見交換から生命化学に興味を持つ高校生が多いこともわかりました。

要望があれば今後も機会をみて開講したいと思います。

